

令和5年度

景況・業況動向調査

上半期（令和5年1月～6月）

令和5年11月

大牟田商工会議所

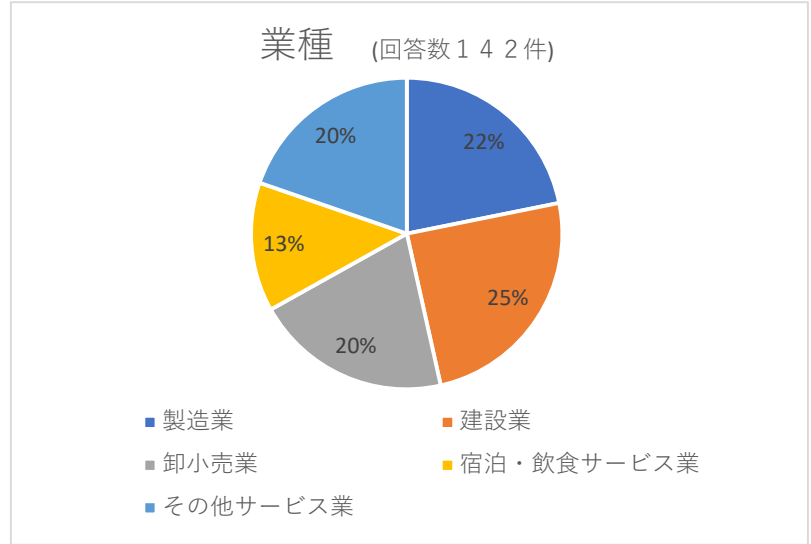
大牟田商工会議所 令和5年度上半期（令和5年1月～6月）景況・業況動向調査

【調査対象】市内会員事業所600社(無作為) 【回答数】142件（回答率：23.7%）

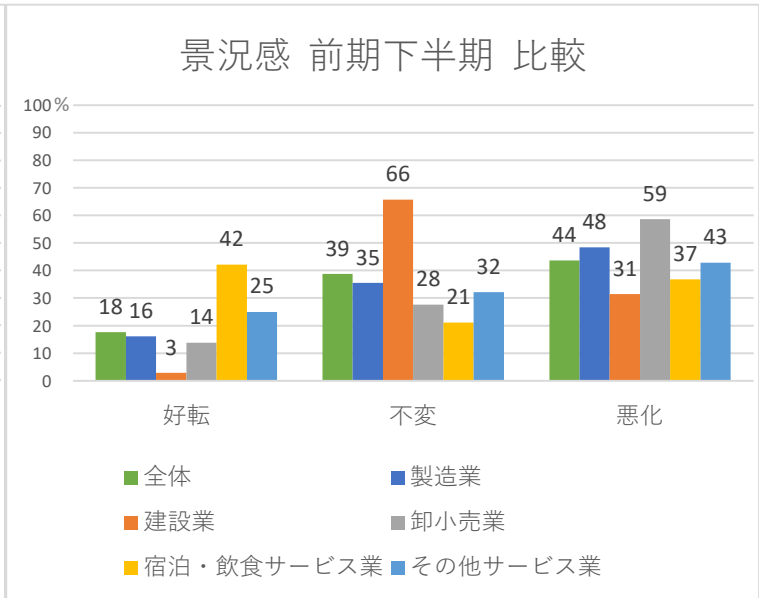
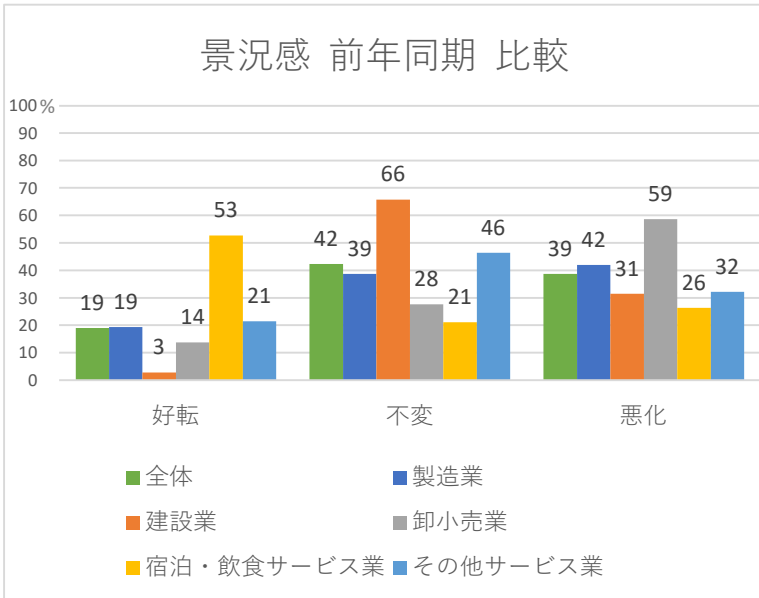
【調査方法】アンケートを郵送し、記入後返送

1. 貴社の業種に○印を付けてください。

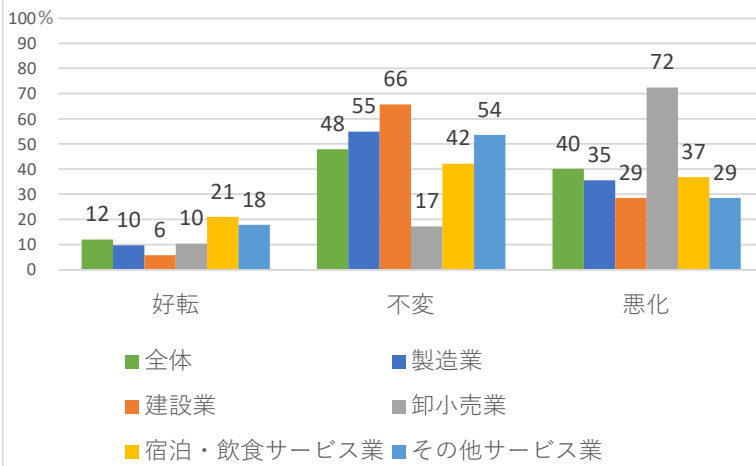
製造業	31 /120社中
建設業	35 /120
卸小売業	29 /120
宿泊・飲食サービス業	19 /120
その他サービス業	28 /120
計	142 /600社中



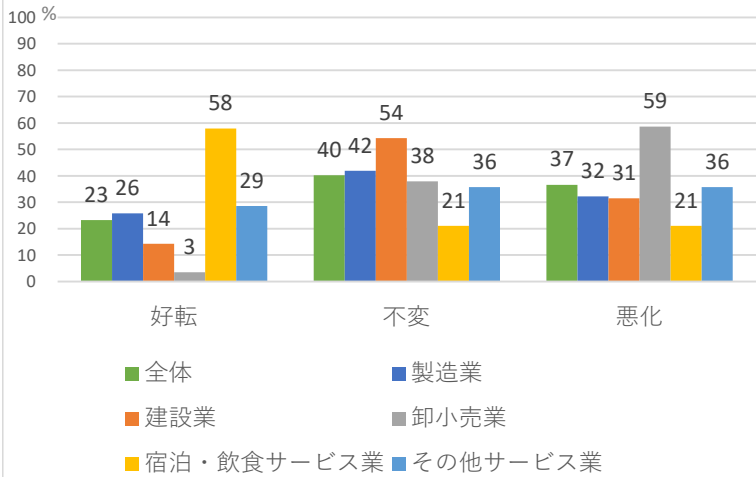
1. 貴社の景況・業況の動向についてお伺いします。今期上半期（令和5年1月～6月）の貴社の状況は、前年同期（R4.1～6）および前期下半期(R4.7～12)と比較してどうですか。また、今期下半期(R5.7～12)の見通しは今期下半期と比較してどうですか。



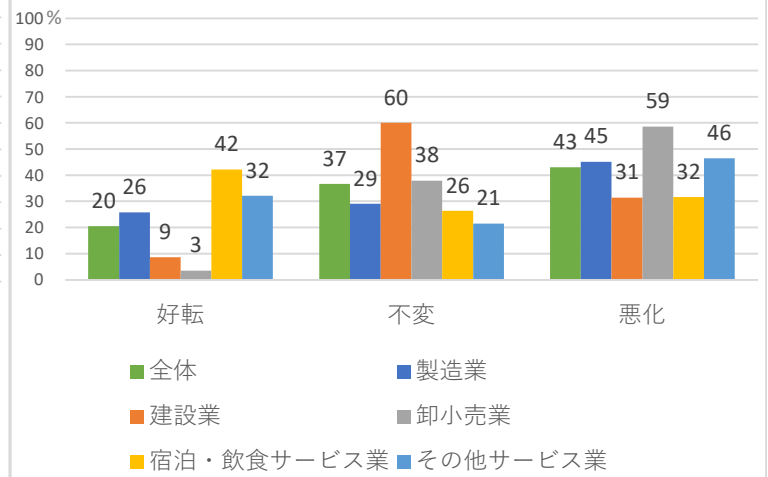
景況感 今期下半期の見通し



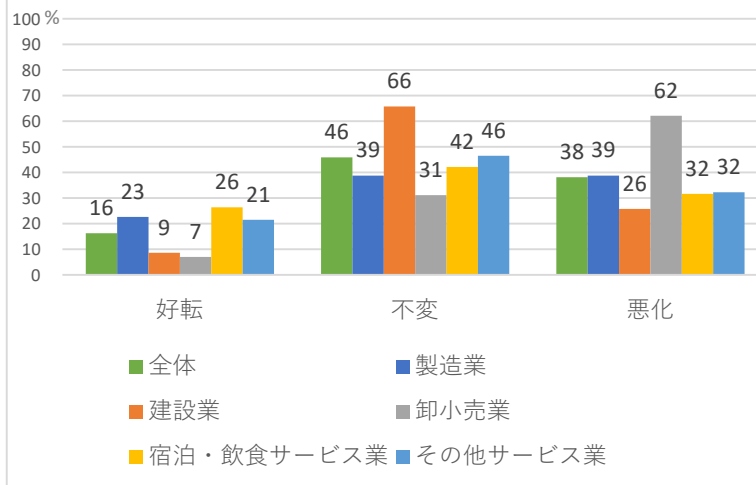
売上高 前年同期 比較



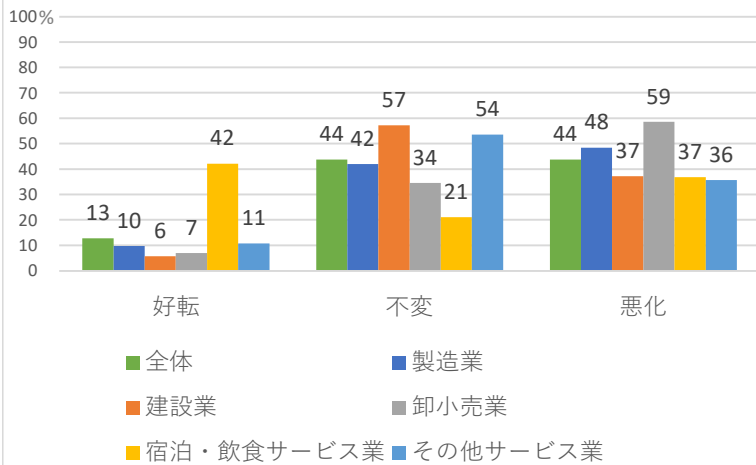
売上高 前期下半期 比較



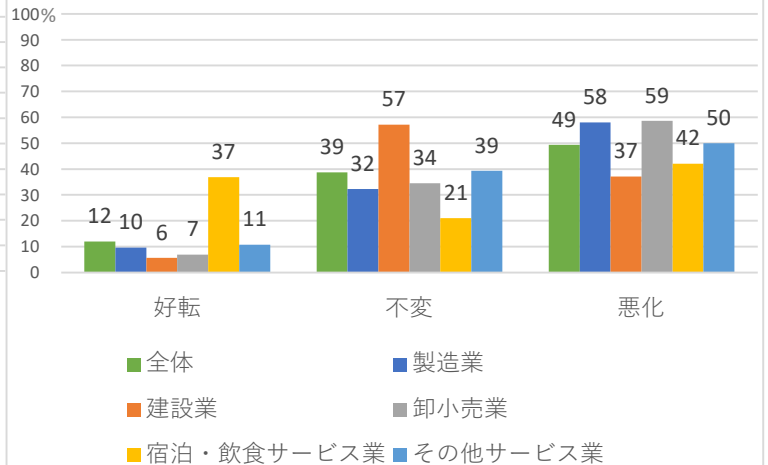
売上高 今期下半期の見通し



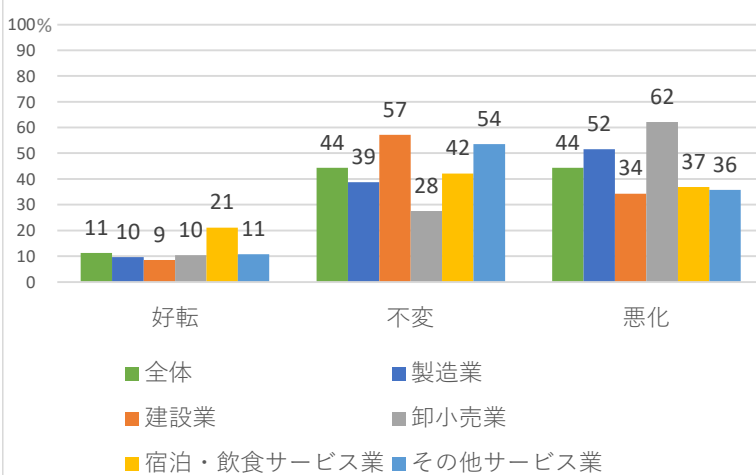
採算（経常利益） 前年同期 比較



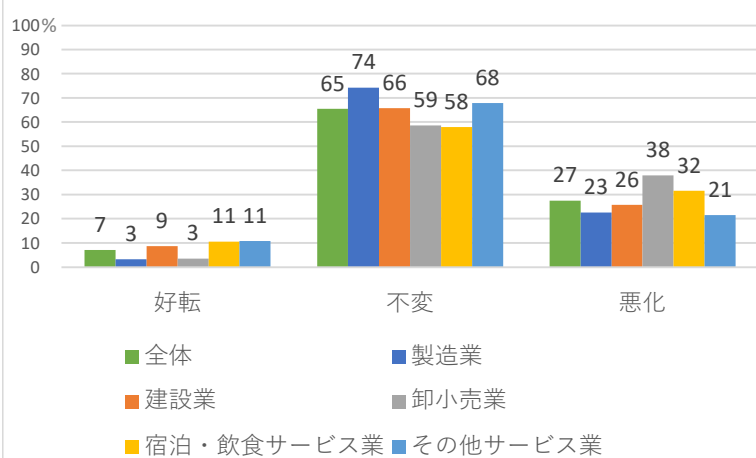
採算（経常利益） 前期下半期 比較



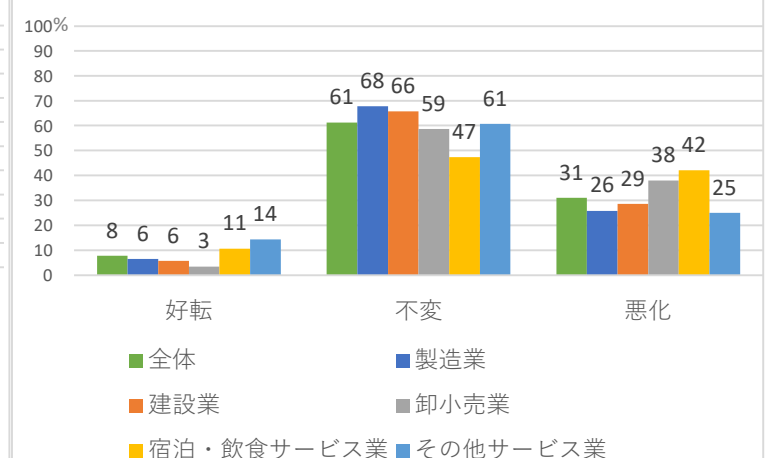
採算（経常利益） 今期下半期の見通し



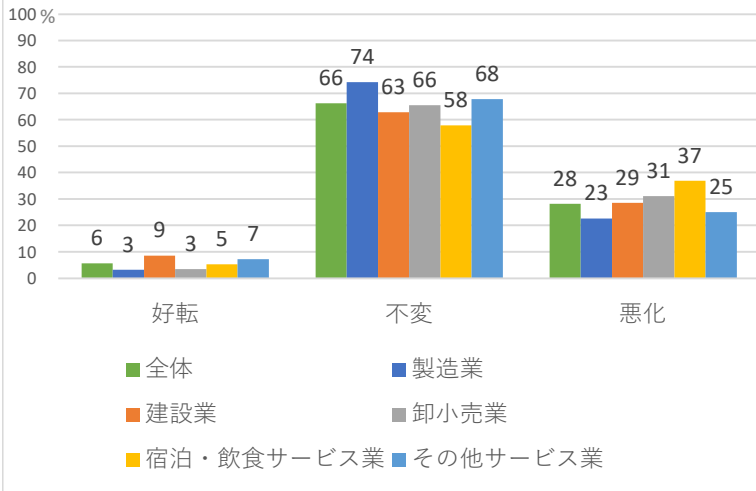
資金繰り 前年同期 比較



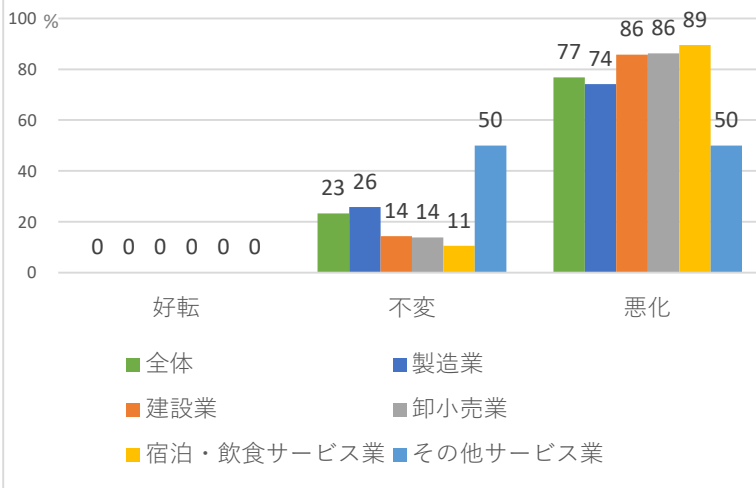
資金繰り 前期下半期 比較



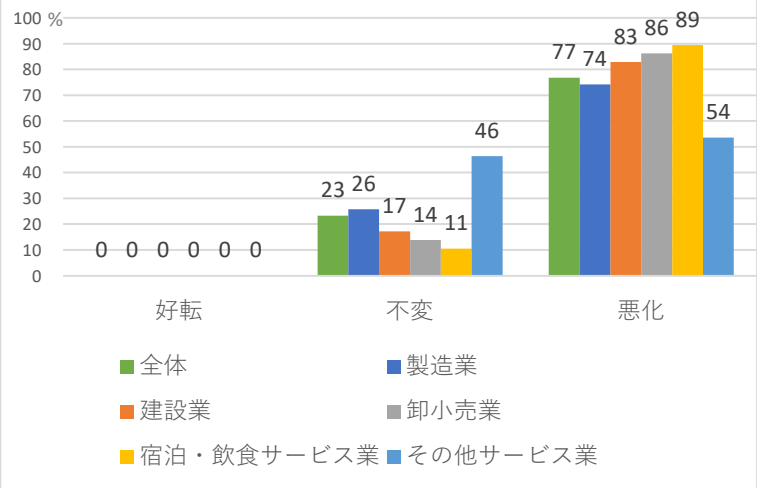
資金繰り 今期下半期の見通し



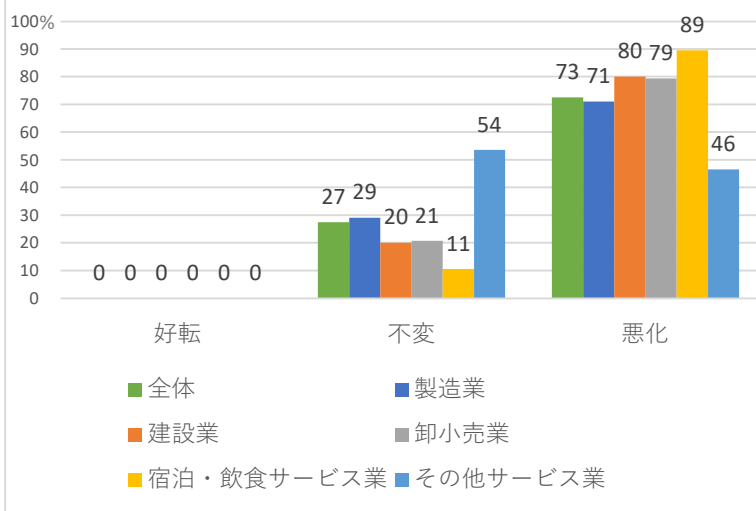
仕入（材料）単価 前年同期 比較



仕入（材料）単価 前期下半期 比較



仕入（材料）単価 今期下半期の見通し



DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI・・・Diffusion Index（景気動向指数）の略

単位（％）

		前年比較								
		令和4年下半期			DI値	令和5年上半期			DI値	前半期比 DI値比較
		好転	不変	悪化		好転	不変	悪化		
景況感	製造業	10	38	52	▲ 43	19	39	42	▲ 23	20
	建設業	14	56	31	▲ 17	3	66	31	▲ 29	-12
	卸小売業	16	38	47	▲ 31	14	28	59	▲ 45	-14
	宿泊・飲食サービス業	32	28	40	▲ 8	53	21	26	26	34
	その他サービス業	9	57	34	▲ 26	21	46	32	▲ 11	15
	全体	17	49	43	▲ 26	19	42	39	▲ 20	7
売上高	製造業	14	29	57	▲ 43	26	42	32	▲ 6	36
	建設業	25	42	33	▲ 8	14	54	31	▲ 17	-9
	卸小売業	22	38	41	▲ 19	3	38	59	▲ 55	-36
	宿泊・飲食サービス業	32	36	32	0	58	21	21	37	37
	その他サービス業	11	49	40	▲ 29	29	36	36	▲ 7	21
	全体	23	43	43	▲ 21	23	40	37	▲ 13	7
採算(経常利益)	製造業	10	38	52	▲ 43	10	42	48	▲ 39	4
	建設業	8	56	36	▲ 28	6	57	37	▲ 31	-4
	卸小売業	16	25	59	▲ 44	7	34	59	▲ 52	-8
	宿泊・飲食サービス業	16	32	52	▲ 36	42	21	37	5	41
	その他サービス業	6	51	43	▲ 37	11	54	36	▲ 25	12
	全体	12	46	52	▲ 40	13	44	44	▲ 31	9
資金繰り	製造業	0	67	33	▲ 33	3	74	23	▲ 19	14
	建設業	11	61	28	▲ 17	9	66	26	▲ 17	0
	卸小売業	6	63	31	▲ 25	3	59	38	▲ 34	-9
	宿泊・飲食サービス業	8	52	40	▲ 32	11	58	32	▲ 21	11
	その他サービス業	3	77	20	▲ 17	11	68	21	▲ 11	6
	全体	7	71	32	▲ 26	7	65	27	▲ 20	5
仕入(材料)単価	製造業	0	10	90	▲ 90	0	26	74	▲ 74	16
	建設業	3	19	78	▲ 75	0	14	86	▲ 86	-11
	卸小売業	0	22	78	▲ 78	0	14	86	▲ 86	-8
	宿泊・飲食サービス業	0	16	84	▲ 84	0	11	89	▲ 89	-5
	その他サービス業	0	51	49	▲ 49	0	50	50	▲ 50	-1
	全体	1	28	81	▲ 80	0	23	77	▲ 77	3

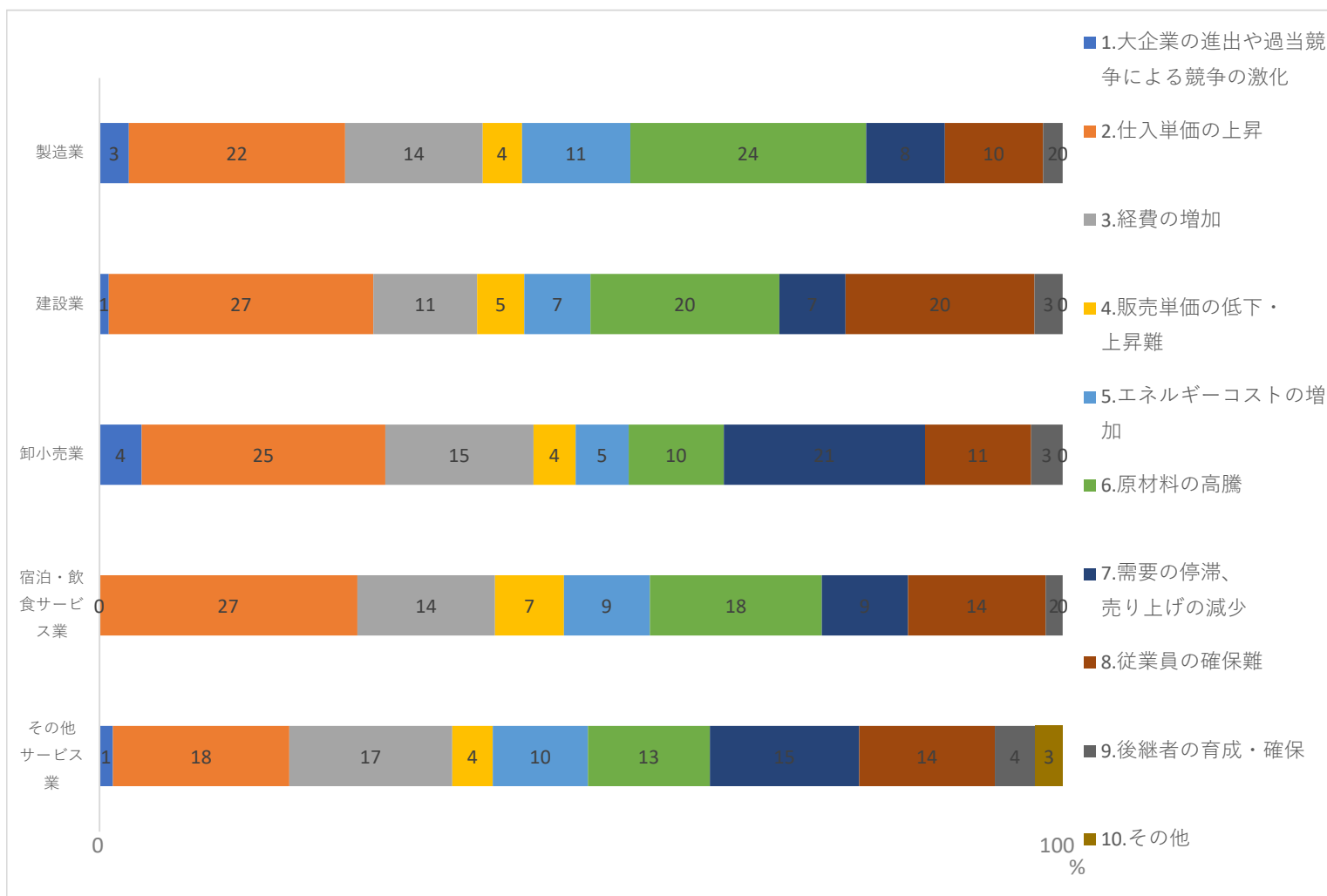
単位 (%)

		半期比較								
		令和4年下半期			DI値	令和5年上半期			DI値	前半期比 DI値比較
		好転	不変	悪化		好転	不変	悪化		
景況感	製造業	5	43	52	▲ 48	16	35	48	▲ 32	15
	建設業	14	61	25	▲ 11	3	66	31	▲ 29	-17
	卸小売業	13	44	44	▲ 31	14	28	59	▲ 45	-14
	宿泊・飲食サービス業	28	40	32	▲ 4	42	21	37	5	9
	その他サービス業	0	74	26	▲ 26	25	32	43	▲ 18	8
	全体	13	60	38	▲ 25	18	39	44	▲ 26	-1
売上高	製造業	10	38	52	▲ 43	26	29	45	▲ 19	24
	建設業	17	56	28	▲ 11	9	60	31	▲ 23	-12
	卸小売業	22	31	47	▲ 25	3	38	59	▲ 55	-30
	宿泊・飲食サービス業	24	52	24	0	42	26	32	11	11
	その他サービス業	0	66	34	▲ 34	32	21	46	▲ 14	20
	全体	15	54	40	▲ 24	20	37	43	▲ 23	2
採算(経常利益)	製造業	5	33	62	▲ 57	10	32	58	▲ 48	9
	建設業	11	58	31	▲ 19	6	57	37	▲ 31	-12
	卸小売業	13	28	59	▲ 47	7	34	59	▲ 52	-5
	宿泊・飲食サービス業	12	44	44	▲ 32	37	21	42	▲ 5	27
	その他サービス業	0	60	40	▲ 40	11	39	50	▲ 39	1
	全体	9	51	50	▲ 41	12	39	49	▲ 37	4
資金繰り	製造業	0	67	33	▲ 33	6	68	26	▲ 19	14
	建設業	8	69	22	▲ 14	6	66	29	▲ 23	-9
	卸小売業	6	56	38	▲ 31	3	59	38	▲ 34	-3
	宿泊・飲食サービス業	4	60	36	▲ 32	11	47	42	▲ 32	0
	その他サービス業	0	74	26	▲ 26	14	61	25	▲ 11	15
	全体	4	72	33	▲ 29	8	61	31	▲ 23	5
仕入(材料)単価	製造業	0	10	90	▲ 90	0	26	74	▲ 74	16
	建設業	0	17	83	▲ 83	0	17	83	▲ 83	0
	卸小売業	0	22	78	▲ 78	0	14	86	▲ 86	-8
	宿泊・飲食サービス業	0	24	76	▲ 76	0	11	89	▲ 89	-13
	その他サービス業	0	49	51	▲ 51	0	46	54	▲ 54	-2
	全体	0	28	82	▲ 82	0	23	77	▲ 77	5

単位 (%)

		来期見通し比較								
		令和4年下半期			DI値	令和5年上半期			DI値	前半期比 DI値比較
		好転	不変	悪化		好転	不変	悪化		
景況感	製造業	10	52	38	▲29	10	55	35	▲26	3
	建設業	11	56	33	▲22	6	66	29	▲23	-1
	卸小売業	19	44	38	▲19	10	17	72	▲62	-43
	宿泊・飲食サービス業	36	40	24	12	21	42	37	▲16	-28
	その他サービス業	6	69	26	▲20	18	54	29	▲11	9
	全体	17	58	35	▲18	12	48	40	▲28	-11
売上高	製造業	10	43	48	▲38	23	39	39	▲16	22
	建設業	17	50	33	▲17	9	66	26	▲17	0
	卸小売業	19	47	34	▲16	7	31	62	▲55	-40
	宿泊・飲食サービス業	28	52	20	8	26	42	32	▲5	-13
	その他サービス業	6	63	31	▲26	21	46	32	▲11	15
	全体	17	57	36	▲19	16	46	38	▲22	-3
採算(経常利益)	製造業	0	57	43	▲43	10	39	52	▲42	1
	建設業	8	50	42	▲33	9	57	34	▲26	8
	卸小売業	13	38	50	▲38	10	28	62	▲52	-14
	宿泊・飲食サービス業	16	36	48	▲32	21	42	37	▲16	16
	その他サービス業	3	60	37	▲34	11	54	36	▲25	9
	全体	9	53	48	▲39	11	44	44	▲33	6
資金繰り	製造業	0	67	33	▲33	3	74	23	▲19	14
	建設業	3	61	36	▲33	9	63	29	▲20	13
	卸小売業	6	63	31	▲25	3	66	31	▲28	-3
	宿泊・飲食サービス業	4	56	40	▲36	5	58	37	▲32	4
	その他サービス業	3	71	26	▲23	7	68	25	▲18	5
	全体	4	70	36	▲32	6	66	28	▲23	10
仕入(材料)単価	製造業	0	24	76	▲76	0	29	71	▲71	5
	建設業	0	28	72	▲72	0	20	80	▲80	-8
	卸小売業	0	31	69	▲69	0	21	79	▲79	-11
	宿泊・飲食サービス業	0	16	84	▲84	0	11	89	▲89	-5
	その他サービス業	3	40	57	▲54	0	54	46	▲46	8
	全体	1	32	77	▲76	0	27	73	▲73	4

Ⅲ.今期上半期（令和5年1月～6月）直面している経営上の問題について、お伺いします。該当番号に○印を付けてください。（3つまで回答可）



製造業

● 今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・ 令和3・4年頃よりは良い。
- ・ 大型案件が決まり、受注は問題なし。
- ・ 食費やガソリン代の高騰により、消費者の財布のヒモが固くなっているのではないか。
- ・ 仕入、原料、燃料の高騰はかなり厳しい。
- ・ LME亜鉛相場下落、ウクライナ侵攻による石炭等エネルギーコストの増加で前年度と比べ業績が悪化。
- ・ 公共工事の減少による製品出荷の減少。
- ・ 半導体の低迷の煽りを受けはじめた。
- ・ 電気代等の大幅な値上がり（予定されている分も含む）による影響大。
- ・ 全て高騰で客先の発注が減っている。たぶん過去最悪。
- ・ 景況は好転しているのだが、円安の影響で原材料の高騰が値上げに間に合っていない。値上げができない。
- ・ コロナ禍よりマシになったが、収益性は原料高で悪化。
- ・ 上半期は予算をクリアすることができ、そのまま好転していくと思われた。
- ・ 前年と比較して売数は増加傾向にあるが、仕入の高騰により利益は目減りしている。

● 今期下半期の景況感をご記入ください。

- ・ 安定した生産の構築。
- ・ 仕入2割上昇も販売価格の2割値上げに踏み切れない。
- ・ 原材料の増集荷・増処理などトラブルの要因に対し、それぞれの因子の改善。
- ・ 売価への転嫁が必要な為来たるべき時期に適切な価格改正を検討している。
取引先も大変苦しい状況が続く中で非常に心苦しく思う。
- ・ 役所設計への盛り込み、設計単価のアップ。
- ・ 半導体以外の販売の拡販、仕入単価やエネルギーコストの増加分の販売単価への転嫁、設備投資等の見直し。
- ・ 経費の増大。取引先へ値引き・割引き要請。
- ・ 売値を上げる必要がある。
- ・ 円安を放任する日銀の怠慢。
- ・ 廃業もしくはM&Aを検討中。
- ・ 効率改善による収支改善。
- ・ 全体の経費に対して販売収益が悪化の一途をたどるばかりである。
- ・ 原材料の高騰が続いているため終わりが見えない。

建設業

- 今期上半期の景況感をご記入ください。
 - ・ 前期と比べ同水準で推移しており、順調である。
 - ・ 仕事依頼はあるが、作業員不足で請け負うことができない。
 - ・ 受注は例年通りだが、人手不足にて売上減。
 - ・ 停滞または悪化している。
 - ・ 今期より新しい事業を促進させたため売上は上昇したが原材料費の高騰により経常利益事態は不変である。
 - ・ 前期より売上は低下気味。仕入単価の上昇やエネルギー等の価格上昇で先行き不安。
 - ・ 公共工事の発注が遅れている為、仕事がない状況が続いている。
 - ・ 変わらない。
- 問題点や対応策を具体的にご記入ください。
 - ・ 人材不足・エネルギーの高騰。従業員の確保のため、様々な方法を検討。
 - ・ 外注先を探す。
 - ・ 原材料高騰の為、経費を圧迫している。
 - ・ 材料単価の上昇に伴う慎重な発注検討が必要。
 - ・ 経費の削減。
 - ・ 無駄・ミス無くす努力と他社との差別化を図る商品開発。独自性を強調。
 - ・ 公共工事の発注の手順化、週休2日制を考慮した適正な工期設定。
 - ・ コロナで仕事がなくなり経営悪化しやむおえず法人解散したのに、債務者と同等の扱いされて困っている。

卸小売業

- 今期上半期の景況感をご記入ください。
 - ・ コロナ禍に比べ景況は上昇している感はある。
 - ・ 特に影響はない。(海外貿易に依存しているので原発の処理水以降の影響は大きい。)
 - ・ 売上は少し好転。
 - ・ 市場価格が高すぎて、買い控えてるお客様が多い。
 - ・ 非常に悪い印象。物が動いている感じがしない。
 - ・ 高温のためかお昼の来客が減少。
 - ・ 新規事業スタートへ向けて期待感。
 - ・ 取引先の店じまいに面して今後の不安と催事の変更で大変だった。
- 問題点や対応策を具体的にご記入ください。
 - ・ 政府の中小企業に対する対応が悪い。 ・ 少しずつ前へと進む他なく、耐える時です。
 - ・ 中国との取引に集中しすぎている為、政治状況に左右されすぎる。
国内の需要等、本質的に人の役に立つようなサービスを取り入れる。
 - ・ お客様も多方面で苦労しているので、賛同してもらっているが販売が厳しい。自助努力する。
 - ・ 自社の強みを生かしながら、新しいサービスを作る必要がある。
 - ・ 人材の確保が難しい。売り上げのチャンスロスが発生している。
 - ・ 勤務時間の縮小。 ・ 大牟田または近辺の人口の低さ。
 - ・ 仕入単価上昇は転嫁する。従業員確保は、人材紹介会社へ依頼し、派遣会社にて確保。

宿泊・飲食サービス業

●今期下半期の景況感をご記入ください。

- ・良くなってきたと思う。
- ・売上は好転しているが、経費・原価等の高騰で単価を上げている為、来客はさほど上がっていない。
- ・コロナ感染が落ち着いた感があって、お客さんが戻りつつあるかと思ったが期待外れだった。
- ・人の動きがあまり良くないと思われる。
- ・コロナが5類に引き下がり一時的に人流回復（3月・4月は良かった）となりましたが、5月からは悪化した。
- ・1・2月は寒かったことと大雨の時期は、売上が良くなかった。
- ・色々なものが値上がりをしていて、単純に価格へ転嫁しにくい。
- ・最低賃金が上がり、掛け持ちしているアルバイトは103万円におさえるので働く時間が減って良い。

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

- ・わからない。この先が不安。
- ・原価率が高いので、その対策。
- ・仕入れ・電気ガス等の経費の高騰。人手不足。新しい人材が簡単に集まりにくい。
- ・原価・経費・人件費が売上に対して追いついていないため、資金繰りがかなり厳しくなっている。
- ・正直頭打ちの状態。
- ・コロナ問題がまだ続いている。
- ・コロナ時に借入の返済が始まり、コロナ前よりも返済額が増加しているので売上が上がっても返済に回さないといけない。
- ・イベントの呼びかけ、SNSを使って宣伝。

その他サービス業

●今期下半期の景況感をご記入ください。

- ・顧客マインドの好転により改善傾向。
- ・経営状況は安定している。
- ・売上は好調だが、利益確保が厳しい状況。
- ・コロナ以降売上が伸びず、困惑している。
- ・ここ2年は横ばい。仕事の受注量が減ったように感じる。
- ・あまり良くないと感じる。
- ・不動産賃貸業は家賃の変化もなく入居者も固定しているので大きな変化はありません。
- ・売上に問題はないが諸経費の高騰が辛い。
- ・エステ業なのでコロナ症状を感じられたら、キャンセルではなく予約延期を取られるので売上は不変。
- ・コロナ明けでお金が観光・飲食などに流れている。
- ・原材料・仕入品の価格アップにより、単価を上げると売れなくなるという悪いループになっている。
- ・売上高好転ではあるが、コロナ前の売上に近づいている状態なので良くなっているわけではない。

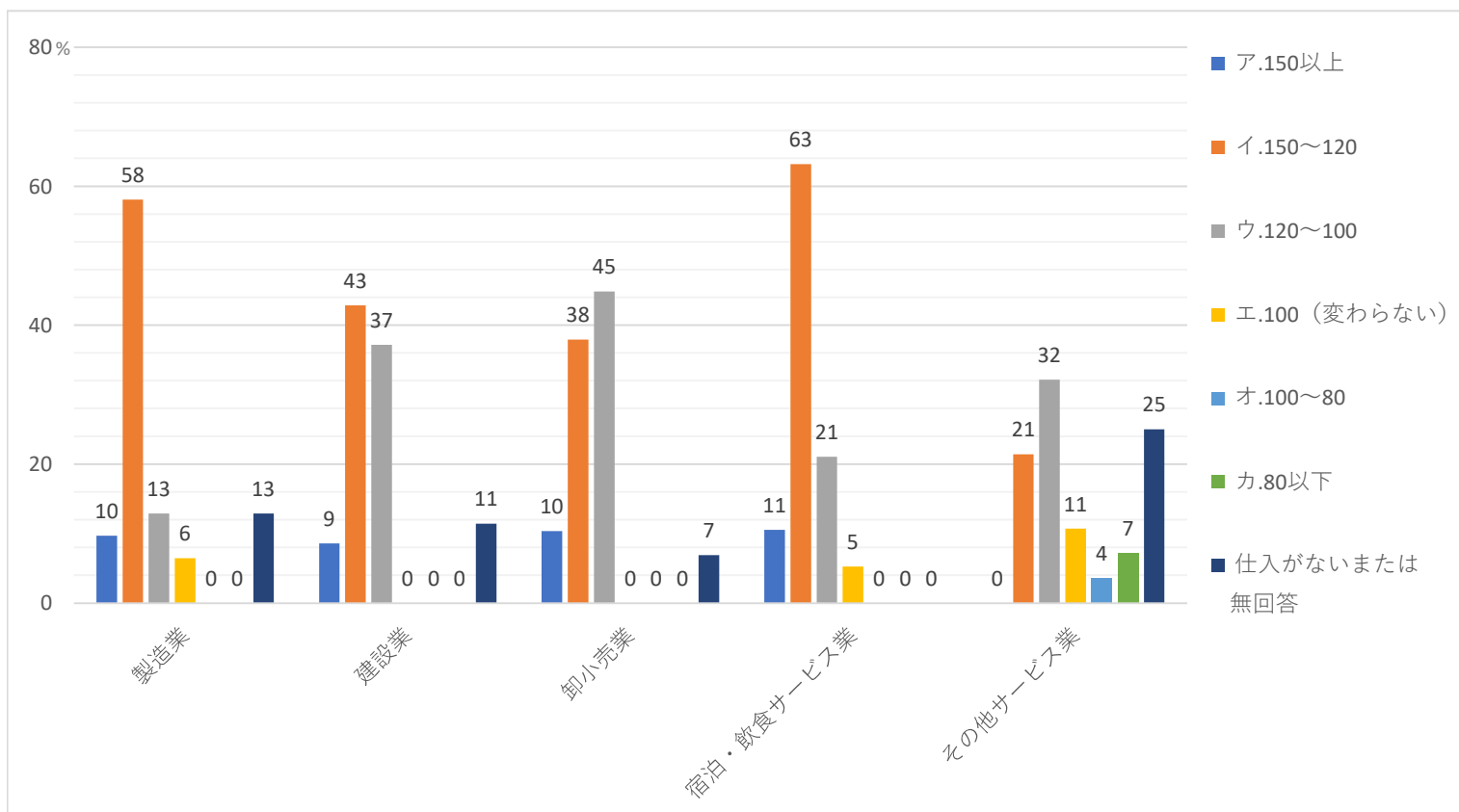
その他サービス業

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

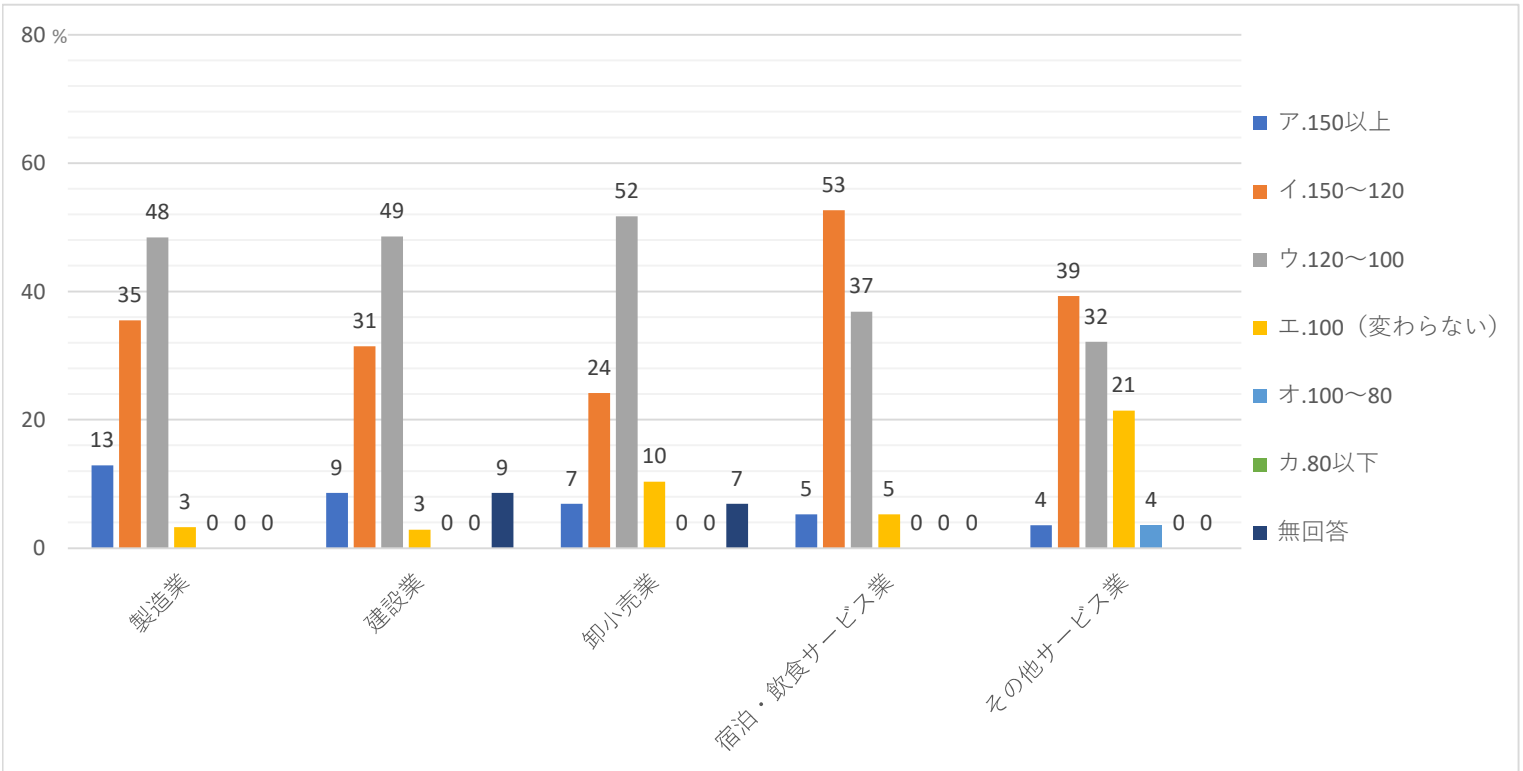
- ・原材料高騰・経費増により収益確保が困難。
- ・新規事業の立ち上げを検討しているが、資金難で行動できない。
- ・人材確保や技術の継承、安全面の指導など力を入れている。
- ・仕事内容が地域密着のため大牟田の景気や人の動きが多くなると厳しい。インターネットの宣伝に力を入れている。
- ・客単価の引き上げは難しいため対応策は今の所ない。
- ・エステ業は物価が上がると生活水準の価値観の変動もあるので、健康維持として認識していただく工夫が必要。時代やお金の使い方を営業として伝えていく事が売上に繋がるのではないかと思案している。
- ・在庫を少なくして、価格が高いものは都度製造する。安く多く出る商品は、仕入を多めにして仕入価格を下げている。
- ・燃料費が高騰している為、経営は悪化のほう大きい。

IV. 原材料・原油・エネルギー価格、仕入価格等の上昇について

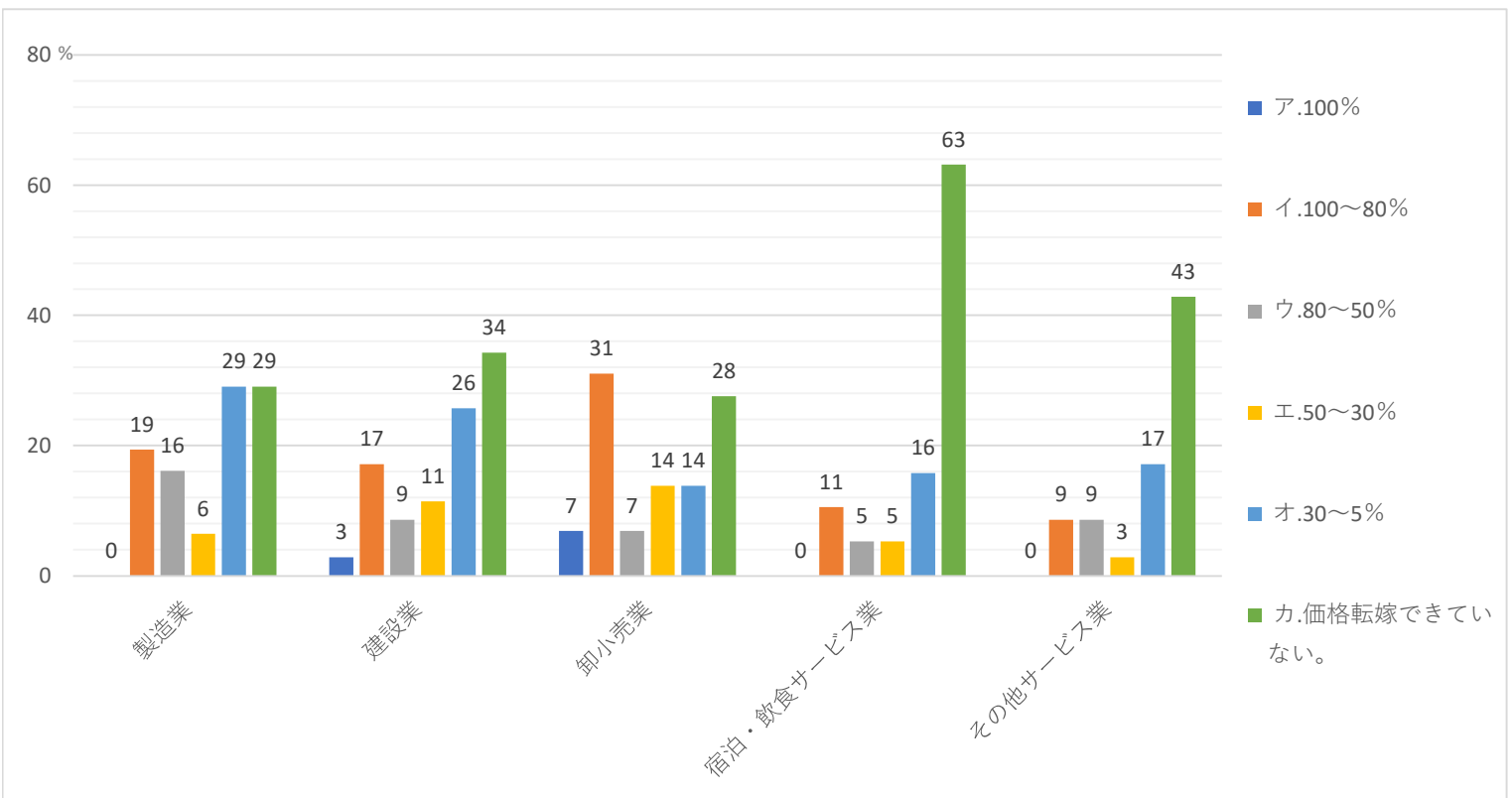
1. 仕入価格は1年前を100とするとどの程度になりましたか。（※仕入れのある事業所のみ）



2. 原油・エネルギー価格上昇による経費（外注費含む）は1年前を100とすると、どの程度になりましたか。



3. 価格高騰に対して何%価格転嫁ができていますか。



製造業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 販売価格アップ。売価への価格転嫁。
- ・ 高速道路使用を減らし、経費削減。節約。
- ・ プロパンガスから天然ガスへの転換。
- ・ 代替原料への検討。 ・ 安価な代替品の調達。
- ・ 歩留まり向上。
- ・ 打つ手がない。
- ・ 仕入メーカーの切り替え。原料の内製化。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 円安の改善。
- ・ 税金の撤廃。 ・ 補助金等の支援策。
- ・ 政府による原材料の支援策により、幾分価格上昇が抑えられているが、可能ならば継続ともう少し補助を望む。
- ・ 電気代削減手法のアドバイス。

建設業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 効率化・合理化・値上げ。 ・ 経費の削減。
- ・ 価格転嫁を地道にお願いする。販売単価に転嫁。
- ・ 最新価格の見積書への反映。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 安定供給。
- ・ 公共工事の発注の手順化、物価スライド。
- ・ 使用燃料分の補助を望む。

卸小売業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 自分もお客様も高騰の影響を受けているので、対策は難しい。
- ・ 経費削減・節電（LED化等）
- ・ 販売価格へ転嫁を行う。
- ・ 上質のリビルト品や中古品を納得してもらい使用している。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 電気代への支援。 ・ 国の助成。
- ・ 円高への経済回復が最優先。
- ・ 原油価格が落ち着いたら、材料も価値の見直しをして欲しい。

宿泊・飲食サービス業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・値上がり前にまとめて購入。
- ・なるべく日持ちをする物を買ったり、冷凍を使うようになった。
- ・実施できかねている。
- ・値上げ、コスト上昇分の価格転嫁。
- ・メニュー構成などを変え、原価を下げて魅力的な内容にする。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・光熱費への支援。
- ・従業員へ給料を直接アップさせてほしい。支援金・助成金だと結果事業主の税金が上がってしまう。
- ・資金繰り支援策を期待する。

その他サービス業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

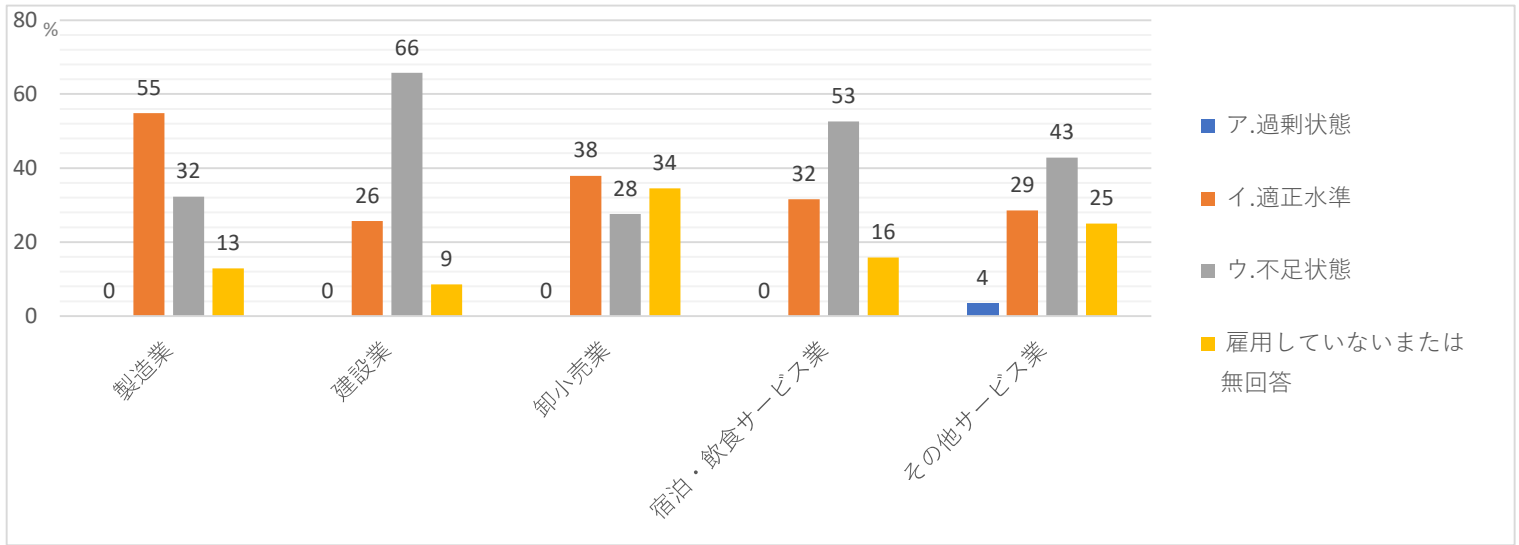
- ・スケールメリットを活かした価格上昇対策。
- ・節電、物品の購入を控えざるを得ない状況。
- ・在庫を抱えないようにする。ネット通販で仕入れる。
- ・無駄な空船回航をさけ、経費削減に努める。
- ・経費支出が増えたため値上げすることを理解していただくように相談する。
- ・大牟田市の補助金を使用し、会社の電灯をLED照明に変更。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

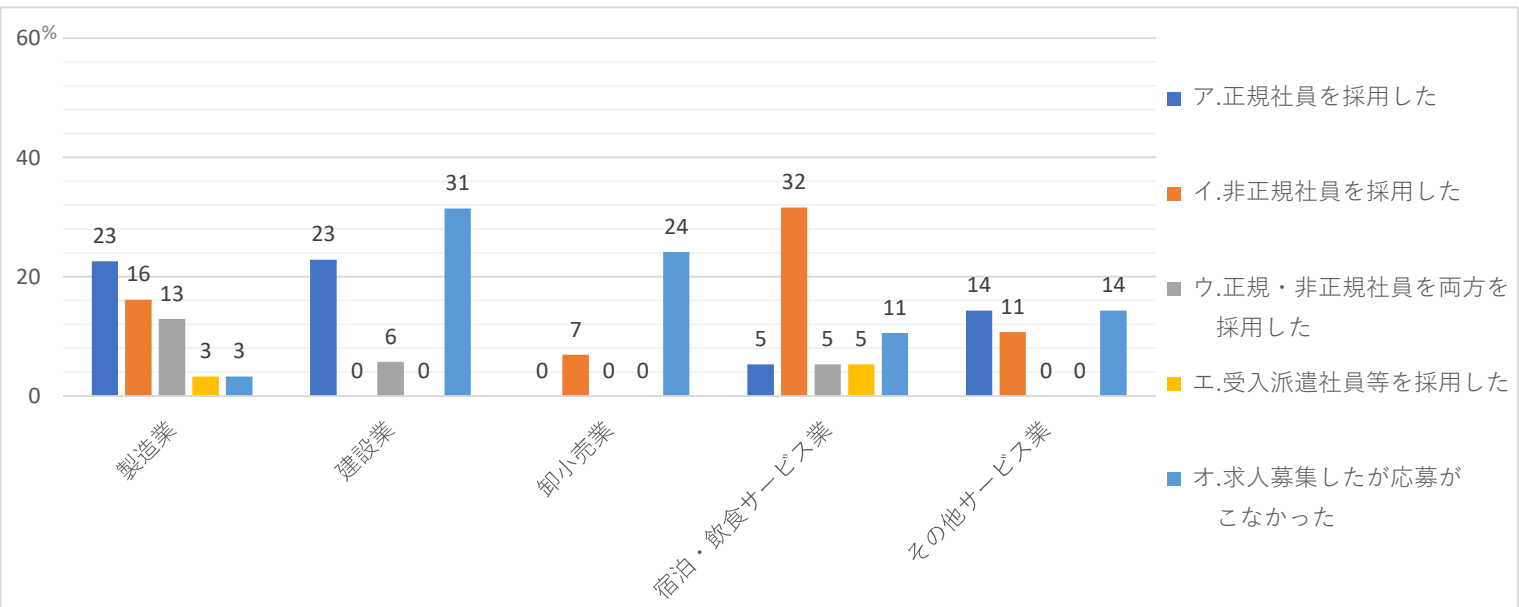
- ・原油価格が下がることを祈るばかり。
- ・ガソリン税の見直しなど一時的ではなく、継続的な政策を行ってほしい。
- ・光熱費・家賃などの支援があれば、値段を変えなくてすみ、お客様の支出負担が減るのではないか。
- ・広告宣伝費への助成金を出して欲しい。
- ・色々な業種が集まった販売イベントを実施して欲しい。

V.雇用情勢について、お伺いします。（従業員を雇用している事業所のみ）

1.現在の雇用状況については、どの状態だと思われますか。



2.今期（令和5年4月以降）に社員の採用を行いましたか。



製造業

●採用方針、またその他、雇用全般に関する影響等をお聞かせ下さい。

- ・中途採用で正規社員の募集をしているが、求人がない。技術者が少ないため応募がない。
- ・若い人や有資格者を雇用したいが採用ならず、取引先の定年退職者の受け入れにとどまる。
- ・来期に向けて人員削減予定。 ・欠員が出ると補充を行っている。
- ・熊本のT S M C進出により人手不足が深刻化している。
- ・間口を広げているが、採用に至らない。
- ・高卒の新卒採用は学校側との関係性の構築が難しく、中途採用に方針を切り替えつつある。
- ・採用を行ったが長続きする人がいなかった。
- 70代以上の高齢者は自己主張が強く教える事を自己流に変えてしまい業務に支障がきたすことがある。
- ・今後は経験者を募集する。業務の拡大に合わせ適任者を採用。
- ・新卒採用による組織の若返り化。次世代の育成。

建設業

- 採用方針、またその他、雇用全般に関する影響等をお聞かせ下さい。
- ・正社員を採用するも目標には及ばなかった。
- ・募集してもなかなか応募がないので経費が掛かっても間口を広げるようにする。
- ・若手の積極採用。雇用状態の改善。
- ・経験者の中途採用を希望しているが応募がなく受注拡大に繋がらない。
- ・定年退職者も出てもらってる。人員不足状態。

卸小売業

- 採用方針、またその他、雇用全般に関する影響等をお聞かせ下さい。
- ・売上減少に伴い採用しなかった。
- ・人員不足による労働力低下。
- ・時給が上がり採用難。転職も増加。
- ・社員の高齢化により人員確保したいが応募がない。

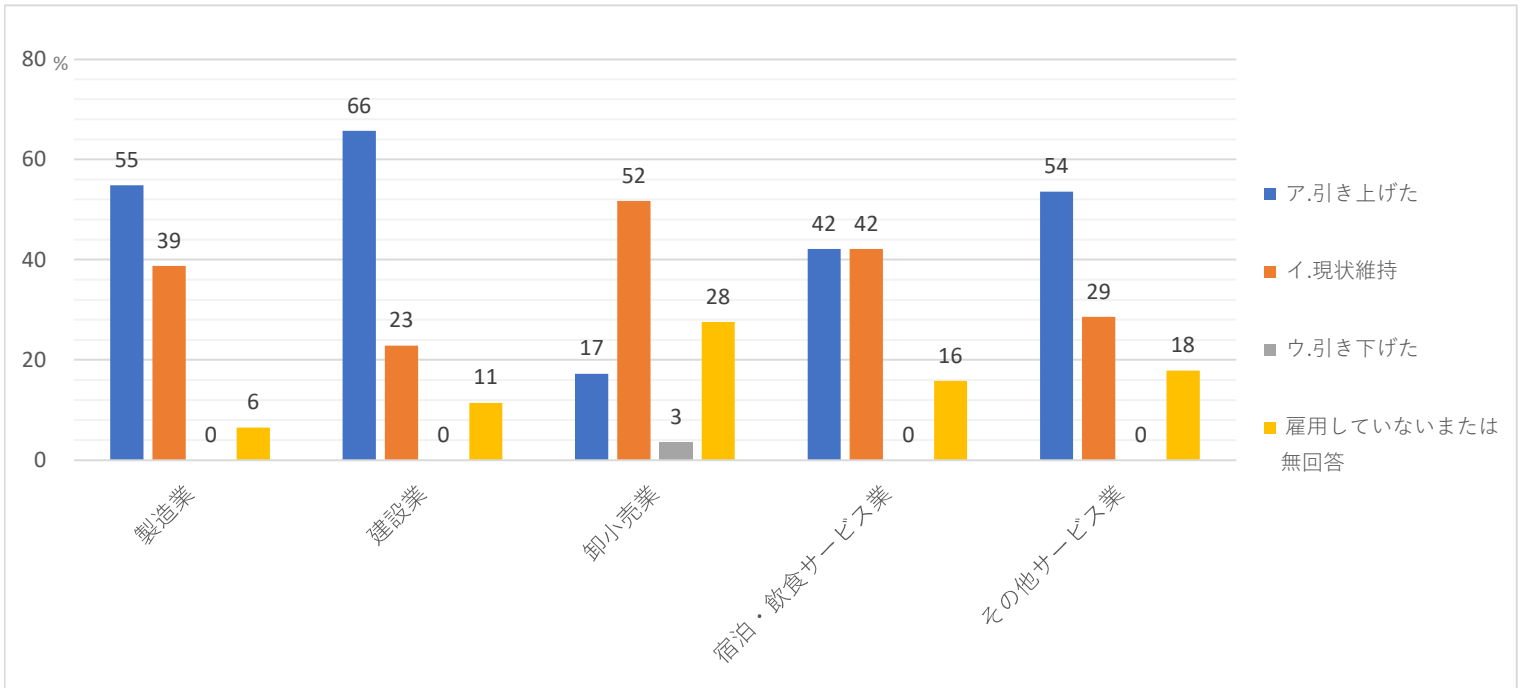
宿泊・飲食サービス業

- 採用方針、またその他、雇用全般に関する影響等をお聞かせ下さい。
- ・パートの空いた時間に合わせられるような働き方。
- ・景気悪化により社員を雇用する余裕がなく、常にスタッフ不足。

その他サービス業

- 採用方針、またその他、雇用全般に関する影響等をお聞かせ下さい。
- ・求人媒体の見直し、自社求人ホームページのリニューアル及びE S向上。
- ・現在の社員で十分運用できている。
- ・ハローワークにて募集するが、全体的に工業を希望する人が少なく人員が確保できない。
- ・仕事柄、有資格や経験者しか採用できないので難しい。

4. 今期上半期の従業員の賃金について。



製造業

- 賃金を引き上げた・引き下げた理由をお聞かせ下さい。
- ・モチベーション向上のため。
- ・物価上昇・最低賃金の上昇を考慮し引き上げた。
- ・他社の賃金を考慮し引き上げた。
- ・生産性の向上に繋がるため引き上げた。
- ・最低賃金が上がったため、賃金の引き上げは行わなかった。

建設業

- 賃金を引き上げた・引き下げた理由をお聞かせ下さい。
- ・社会が賃上げの動向だったため、モチベーション向上のため。
- ・物価上昇のため引き上げた。社員の負担を軽減するため。
- ・最低賃金の上昇を考慮。
- ・事業の幅を増やすため引き上げた。

卸小売業

- 賃金を引き上げた・引き下げた理由をお聞かせ下さい。
- ・人材確保のため引き上げた。
- ・売上が伸びず、引き下げた。
- ・上げたいが売上減少のため現状維持。

宿泊・飲食サービス業

- 賃金を引き上げた・引き下げた理由をお聞かせ下さい。
- ・社員のモチベーション向上。
- ・特に長く勤めている方へのモチベーション向上と流出防止。
- ・最低限の雇用を守るため。
- ・現状のままだと募集しても求人がないため。
- ・引き上げたが、大牟田市で福岡市と同じ時給は厳しい。
- ・最低賃金の上昇を考慮。

その他サービス業

- 賃金を引き上げた・引き下げた理由をお聞かせ下さい。
- ・社員のモチベーション向上。
- ・最低賃金の上昇を考慮。
- ・決算賞与支給のため。
- ・社員確保・求人確保のため。
- ・社員に将来の夢を持ってもらうため。